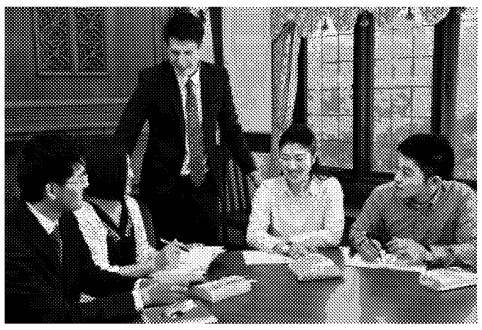
# 留学もオンラインで

## 県内大学

新型コロナウイルス禍で海外との往来が途絶えるなか、千葉県内の大学がネットを活用した「留学」や国際交流を進めている。語学の学習だけでなく、現地の学生とオンラインで交流する機会を設け、本物の留学に近い雰囲気が味わえるよう工夫する。コロナ後を見据え、学生の国際感覚を磨く。



神田外語大は福島県内の語学研修施設で合宿形式の研修を実施する

和洋女子大は米国の大学生と互いの言語を学び合うオンライン学習を取り入れた

### 神田外語 4地域学生と交流

神田外語大学（千葉市）が4月に開設する新学部「グローバル・リベラルアーツ学部」は1年次の夏に海外研修（3～4週間）を全員に課す予定だったが、2021年度は断念した。代替措置として、福島県内の語学研修施設と千葉市内のキャンパスで2週間ずつの学習プログラムを予定している。

リトアニアやインド、マレーシアなど留学を予定していた4地域の大学と連携し、オンライン講義を実施する。海外の雰囲気を味わえるよう、現地学生との交流やバーチャルツアーの機会もある。国内でも東日本震災の被災地や、提携の地域に関連する施設や国際支援機関などを訪問して理解を深める。

学生は4地域すべてについて学ぶ。大学の広報担当者は「いろいろな地域や価値観を知るきっかけになる」と話す。後期以降は感染拡大が収束した時期を見計らい、当初のカリキュラムより短い期間での海外研修を実施したい考えだ。

### 和洋女子 米大学と共同学習

麗沢大学（柏市）も海外の大学と提携し、春休み期間中の2～3月にオンラインの学習プログラムを開催する。英語と国語による9種類に加えて、今後はドイツ語のプログラムも用意する。4月以降はICT（情報通信技術）を活用し、海外大との共同講義も始める。既存の講義と並行させたり置き換えたりしながら、中長期にわたる学習環境を整える。

和洋女子大学（市川市）の国際学部はウェブ会議システムを使い、米デポール大学日本語学科の学生との共同学習を導入した。20年秋の1回目には1～2年生を中心に13人が参加。「初めは緊張したが、回を重ねるにつれ自分の英語が理解される喜びを感じ、学習のモチベーションが上がった」などの声が上がった。

共同学習を通じて親しくなった現地の学生とLINE（ライン）やクリスマスカードを交換する参加者もいるという。21年度はデポール大学のカリキュラムに合わせ、1期につき3回、計4期の共同学習を計画している。学生同士がいつでも連絡を取り合えるよう、参加者限定のウェブサイトもつくる。「費用面から海外留学を諦める学生もいるため、コロナ収束後も継続したい」（担当者）という。

許諾番号30080493日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2021年02月04日 日本経済新聞 地方経済面 千葉

(C)日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。